

日本磁気共鳴医学会 多様性推進委員会

本学会における多様性推進に関する活動は2020年に開始した。まずは学会によるシンポジウム「2020年 学会所属員のダイバーシティを考える；私にも言わせて！俺にも言わせてろ！」を行った。同年の理事会選挙で初めて「多様性枠」が創設された。

委員会活動としては、当初「多様性推進・倫理委員会」として活動を開始。2022年より「多様性推進委員会」として独立した委員会で活動を継続・発展させた。

「本学会において、様々な立場の人が参加しやすく、機会を均等に、意見を反映できるシステムを作成すること」を目指し、日本磁気共鳴医学会が元来もっているMRIに関する多様な専門性（医師・技師・開発者・基礎研究者）のみならず、性別、年齢、地域等様々な軸を考えていくこととしている。現在までの活動内容は以下の通り。

1. 現状調査

多様性に関するアンケートを2022年8月に実施。会員全体の33%にあたる1235名から回答を得た。解析結果は2022年9月の大会にて学会会員に向け発表、報告書作成中。

2. 学術大会および学会 Website における多様性推進

2. 1 大会において毎回多様性関連シンポジウムを開催

2020年 学会所属員のダイバーシティを考える；私にも言わせて！俺にも言わせてろ！

2021年 Diversity どう取り組むの、どう変わるの？

2022年 ダイバーシティへの取り組み:初めの一步からキャリア形成へ

2023年 ダイバーシティ企画・交流の達人になる

2. 2 大会における女性・若手の座長登用を促進

日本医学放射線学会・日本核医学会の多様性推進担当者と連携して、女性座長候補リストを作成。プログラム担当と情報共有。

座長経験の少ない方へのサポートとして、座長の手引き（日本循環器学会・日本医学放射線学会作成）を学会 Website に掲載。

2. 3 学会 Website 内に多様性推進のページを作成

活動記録や多様性関連シンポジウムの印象記を掲載。

2. 4 2023年大会にて大会期間中の託児所を設置

参考：

日本磁気共鳴医学会 多様性に関するサイト

https://www.jsmrm.jp/modules/misc/index.php?content_id=4